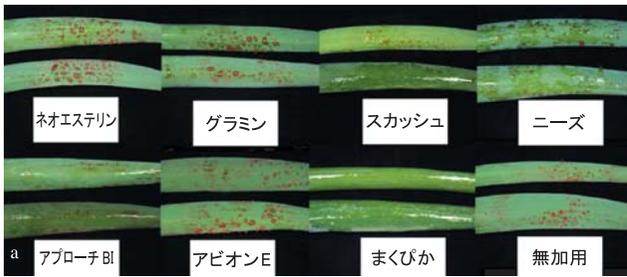


## 野菜の病害防除における展着剤活用

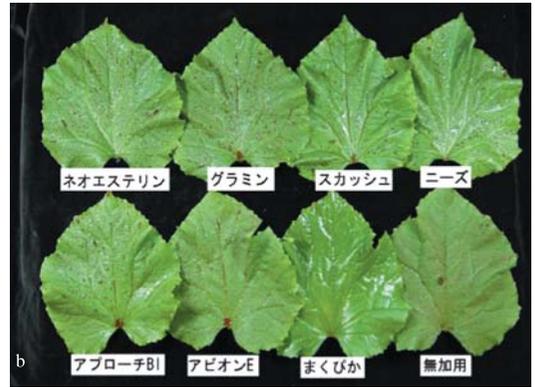
(本文 24 ページ参照)



① 散布液の拡張性に対する展着剤加用の影響

a: ネギ, b: キュウリ

TPN 水和剤 1000 倍にネオエステリン (× 5000),  
 グラミン (ネギ× 3000, キュウリ× 10,000),  
 まくびか (× 3000), スカッシュ・ニーズ・アプローチ BI  
 (× 1000), アビオン E (× 500) を加用



折原紀子氏原図

## 水稻の穂枯症状について—細菌性病害—

(本文 40 ページ参照)



① イネもみ枯細菌病 (A), イネ内穎褐変病 (B) およびイネいもち病 (C) の穂の症状



② 内穎褐変病と強風によるもみの被害



③ イネもみ枯細菌病 (A) とイネ内穎褐変病 (B) の症状  
 もみ枯細菌病により小穂軸が黒褐変している (A 矢印)



④ イネもみ枯細菌病による玄米の各種症状  
 矢印: 褐色条斑米

① A, ③ A, ④ 對馬誠也氏原図  
 ① B, ②, ③ B: 長谷川 優氏原図  
 ① C: 小泉信三氏原図

## 水稻の穂枯症状について—糸状菌—

(本文 44 ページ参照)



①褐色葉枯病による穂枯れ症状と葉の病斑  
(左：挟間渉氏，右：内藤秀樹氏原図)



② *Curvularia* 菌による褐色米 (A 左：全体が褐変した玄米, A 中：腹部に微細斑点のある玄米, A 右：健全玄米, B 左：腹部に微細斑点のある精米, B 中：健全精米)  
本多範行氏原図

## オオトゲシラホシカメムシとトゲシラホシカメムシの分布変化に及ぼす温度の影響

(本文 49 ページ参照)



①オオトゲシラホシカメムシ (左) とトゲシラホシカメムシ (右) の背面 (前胸背板黒斑がオオトゲの方が密になっている)



②オオトゲシラホシカメムシ (左) とトゲシラホシカメムシ (右) の腹部 (腹部下面がオオトゲでは殆ど褐色で、トゲは淡褐色の部分が多い)

藪 哲男氏原図

## 日本産オオメカメムシ類の生態とオオメカメムシの害虫防除資材としての活用

(本文 54 ページ参照)



①オオメカメムシ成虫



②ミナミオオメカメムシ (仮称) 成虫



③ヒメオオメカメムシ成虫



④クロツヤオオメカメムシ成虫 (雌)



⑤クロツヤオオメカメムシ成虫 (雄)

オオメカメムシおよびミナミオオメカメムシの外部形態の違い

- a) 触角第 4 節の色が異なる
- b) 前胸背左右両縁と後縁の色が異なる
- c) 後脚腿節の黒色部の有無 (オオメカメムシのみあり)
- d) ミナミオオメカメムシのほうが小型で光沢に富む

大井田寛氏原図

## NIAS ジーンバンク (微生物部門) の紹介

(本文 58 ページ参照)



①凍結保存用液体窒素タンク



②糸状菌の生残検査



③特性調査 (根頭がんしゅ病菌のトマトへの接種)



④特性調査 (ダイコン炭疽病菌) 永井利郎氏原図